

くらし、中小企業応援で 元気の出る地域経済



暮らしの声に耳を傾けて

「水道料金を値上げされたら暮らしていけない」。こんな声をお聞きします。

消費税の5%減税、水道料金値上げストップ、医療・介護の負担増をやめ、子育て支援充実で暮らしを応援する市政に転換しましょう。商店街など身近な買い物環境の整備、地域の仕事おこし、中小企業を応援して元気の出る地域経済を進めましょう。

ごいっしょに暮らし応援の市政を実現しましょう。



いわお ひろし

八幡市議
6期

【プロフィール】市議6期。洛南高卒。全国地域人権運動総連合（人権連）府連書記長。八幡民主商工会副会長。八幡市PTA連絡協議会会長、男山中・中央小PTA会長など歴任。現在、市議会文教厚生委員会に所属。

新しい議会でも、値上げ撤回せまる **5** 人の議員団を！

4月から市民を襲う水道料金値上げ

こんな時に
なにすんの！



値上げに日本共産党はきっぱり反対しましたが、自民・公明・維新は賛成しました。

物価高騰が続いているのに 給食無償化が全国に広がっているのに

学校給食費、国民健康保険料も4月から値上げです。日本共産党は、新しい議会でも引き続き、値上げ撤回へ全力を尽くします。

お約束

- * 水道料金値上げストップ
- * 身近な買い物環境の整備
- * 国民健康保険料の引き下げ
- * 医療・介護の負担軽減
- * 学校給食費の無償化
- * 18歳まで医療費を無料に
- * 商店街の活性化を支援
- * 京阪・石清水八幡宮駅の利便性の向上

日本共産党

物価高からいのち・暮らしを守る

八幡民報

2023年4月10日号 発行：日本共産党山城地区委員会 電話：0774-46-9804
日本共産党山城地区委員会は、上記の政策と見解を発表しました。

5 日本共産党 人の議員団

市民の願い
実現する

原動力

日本共産党は、市民のみなさんと運動に取り組むとともに、議会で論戦、国や府への要請・交渉を重ね、様々な分野の願いを一步一步実現してきました。議会第一党・5人の日本共産党議員団は、住民と市政を結び、願いを実現する原動力です。引き続き5人で働かせてください。

住民と力あわせ粘り強く

子どもの医療費

高校生の入院費が4月から無料に。昨年12月議会で、高校卒業まで医療費無料化を求める請願が全会一致で採択されたことが力になりました。

日本共産党は毎年、市民のみなさんと、子育て・教育充実の請願に取り組んできましたが、ずっと不採択にされてきました。秋からの府の医療費助成拡充とあわせ、住民の運動と日本共産党の論戦が市政・府政を動かしています。

国民健康保険料

府内14市で最も高かった保険料(2015年)。財源を示して引き下げを求め続けてきました。2016年以来、引き下げ・据え置きを重ね、2022年度は府内5位まで引き下げることができました。



中学校給食

八幡市では、住民のみなさんの運動と日本共産党の論戦が実り2017年度からスタート。これが京都府全域へ広がりました。

いま府内8自治体で無償化・減免が実現しています。12月議会で無償化を求める請願採択を力に、一刻も早い無償化実現へ力を尽くします。

行政のゆがみただす

● 四季彩館への際限ない資金投入の見直しを

市からの損失補てんは1,700万円。それでも800万円の赤字になっています。経営分析・立て直しをはかること、事業縮小や場合によっては廃止も含めた検討を急ぐべきです。

● 「同和事業」の温存やめよ

地域交流事業の特定地域での開催をあらため、住民間の交流をはかるために市内各地での開催を。特定の学校の児童・生徒に利用者が集中している南ヶ丘教育集会所の学習支援事業は、各中学校区の学校・公民館・コミュニティセンターなどで実施すべきです。

国・府に直接要請



2015年の政府交渉

共産党市会議員団は、国会議員団・府会議員団と連携し、この9年間で4回の政府交渉を取り組みました。交渉で得た情報や知識を市議会に持ち帰り提案。財源確保や制度活用に道を開き、市民要求を実現してきました。

学校体育館へのエアコン設置

大規模災害時に避難所となる学校体育館へのエアコン設置は、現在12校中8校で実現。2年後に全校で完了する計画です。

設置された体育館がコロナワクチンの接種会場としても活用され、大活躍しています。

くすのき小、さくら小では、エアコンを稼働する時に使うプロパンガスを活用し、大人数の炊き出しができる設備も併設されています。

エアコン設置は1校約4,000万円ですが、市町村に有利な制度を活用し、国が7割補てんします。共産党議員団が政府交渉で、この制度の継続を要請。市に活用を提案してきました。



くすのき小学校・体育館に設置されたエアコン



くすのき小学校・炊き出し設備

男山団地のエレベーター設置

政府やUR都市再生機構に繰り返し要望。男山団地B地区に17基のエレベーターが設置されました。最近3年間は新設されておらず、3月議会で、URに設置を求めるよう、市に迫りました。



自民・公明が進め、
維新があおる「大軍拡」

他国攻める軍事大国に
日本が標的になる恐れも



住民は犠牲に?
自衛隊基地は核攻撃に備えて
「シェルター化」

精華町・祝園弾薬庫
長距離ミサイルを保管する火薬庫
新設の調査費(4億円)を計上

岸田内閣は、軍事費43兆円、敵基地攻撃能力の保有、長射程ミサイル配備で「戦争する国」づくりを進めています。日本からの先制攻撃に対する反撃に備えるため、全国各地の自衛隊基地の「強靱化」を計画しています。

八幡市を囲む▷大久保(宇治市)▷黄檗(同)▷桂(京都市)▷祝園(京田辺市・精華町)の自衛隊基地は、八幡市役所からわずか6.2~13.2キロ。攻撃対象になり、八幡市民にも被害が及ぶ恐れがあります。

大軍拡あおる 維新の会

「まだ踏み込みが足りない」
(馬場代表/1月26日衆議院本会議)

「核共有」議論の
開始などを主張

府内初の「非核平和都市宣言」 八幡市から「戦争アカン」の声を示そう

八幡市は府内で初めて「非核平和都市宣言」(1982年)しました。「大軍拡」「核共有」など相容れないまちです。

日本共産党は戦争する準備ではなく、徹底した対話と平和の外交に力を尽くし、「大軍拡・増税ストップ」に全力をあげています。



八幡
から

自民・公明・維新の暴走にストップを!

くらしも平和も壊す「悪政連合」